

平成28年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	23938 乳幼児法定外予防接種助成事業				
基本政策	01 とともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち				
政策	03 自立生活を支える健康づくり				
施策	02 疾病予防・保健サービスの充実				
実施形態	直営				
事業期間	単年度	平成27年度～			
要求区分	新規	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名 条項					
予算科目	01-040102-010500				
部名	24 暮らし安心部	課名	03 健康課		
課長名	塩崎 さゆり	T E L	22-3111	内線	353

2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>乳幼児に対する任意予防接種（インフルエンザ・おたふくかぜ・ロタウイルス）への助成。 対象は平成27年4月1日以降に生まれた者で6歳になるまで使用できる。一人につき 2,000円の助成券を3枚交付するもので個別通知している。</p>
事業の対象 (誰・何を)	平成27年4月1日以降生まれで6歳未満児が接種したインフルエンザ・おたふくかぜ・ロタウイルスの任意予防接種
事業の目的 (どういう状態にするために)	子育て世代への支援及び乳幼児期の感染防止
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	任意予防接種（インフルエンザ・おたふくかぜ・ロタウイルス）に対して 2,000円の助成券を3枚配布し、3回分の予防接種を助成する。

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成25年度決算額	-	-	-	-	-	-	-	-
平成26年度決算額	-	-	-	-	-	-	-	-
平成27年度決算額	222	200	0	0	0	0	0	22
平成28年度予算額	1,711	0	0	0	0	1,711		0

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成27年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成27年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.05	0.00	0.05	390	222	612
事業費の主な用途		扶助費			

平成28年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	予防接種助成券配布枚数				単位	枚
	説明や数式	年度中の助成券配布枚数					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値			993	900		
	実績値		879				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		612 0.70				
活動 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成果 指標 ①	指標名	予防接種助成券利用枚数				単位	枚
	説明や数式	年度中の助成券利用枚数					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値			300	300		
	実績値		111				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		612 5.51				
成果 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	<p>実績：インフルエンザ 0人、おたふくかぜ 0人、ロタウイルス 64人(111回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたふくかぜは、1歳以上が対象となるため平成27年度は接種者がいませんでした。 ・インフルエンザは、生後6か月以上が接種対象ですが、接種者はいませんでした。 ・ロタウイルスは、生後6週から接種できるため、64人(111回)の接種がありました。 						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	事業の総合評価	継続実施					
説明	<p>初年度は、接種の対象年齢に到達していないものがあつたため、接種者が少なかった。 2年目の平成28年度は、インフルエンザ、おたふくかぜの対象年齢に到達する接種者が増加するため、助成件数も増加すると見込まれる。 任意接種であるため接種するかどうかは保護者の判断であるが、広報等を活用し、利用を周知する。</p>						
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	事業の総合評価	継続実施					
説明	<p>平成27年4月1日以降生まれで6歳以下の児童が対象であり、事業が複数年にまたがるため、市外転出者の除外を含め管理を十分に注意すること。 現在、助成券は2,000円券3枚が配布され、1回の予防接種で1枚使用となっているが、1回の予防接種で3枚使用できるようにする等、利用者が使用しやすい方法を検討されたい。</p>						